

第30回 山口市中心市街地活性化協議会（報告）

1. 日 時 平成27年5月20日（水）15:00～15:40
2. 場 所 山口商工会議所 5階コミュニティホール
3. 出席者 16名
4. 内 容

齋藤会長から挨拶の後、議事に入る。

【審議事項】

1号議案 平成26年度事業報告並びに収支決算報告について

事務局から資料に基づき、平成26年度事業報告・収支決算について報告。監査について藤田監事より報告。

～異議なく承認～

2号議案 平成27年度事業計画並びに収支予算（案）について

事務局から資料に基づき、平成27年度事業計画・収支予算案について説明。

～異議なく承認～

3号議案 協議会構成員の所属団体について

事務局から構成員の中村好文氏が、山口市中心市街地街づくり推進協議会会長から、山口市住宅市街地整備協議会副会長に就任。引き続き委員を委嘱することを説明。

～異議なく承認～

【報告事項】

第2期中心市街地活性化基本計画の進捗状況について

(1) 計画変更の認定について

山口市より資料に基づき説明。

本年2月に内閣府に対し、第2期山口市中心市街地活性化基本計画の変更申請を行い、3月27日に内閣総理大臣認定を受けた。「黄金町地区第一種市街地再開発事業」の追加と「米屋町東地区優良建築物等整備事業」の実施期間を当初の「平成26年から平成27年」を「平成26年から平成28年」に延長した2点が主な変更内容。

(2) 基本計画のフォローアップに関する報告について

山口市より資料に基づき説明。

「商店街等通行量（休日）」については、目標値58,000人に対して、平成26年度は48,733人となっており、現時点では目標達成には至っていない状況にある。これは、主要事業であるハード事業整備が実施中であることから、事業の効果が発現するのが今後になることが見込まれる。「商店街の空き店舗数」については、目

標値 30 店舗に対して、平成 26 年度は 40 店舗であり、現時点では目標達成には至っていないが、毎年 3 店舗の空き店舗を解消し、5 年間の計画期間中に 15 店舗の空き店舗解消を目標にしていることから、このままの推移が続けば目標達成は十分可能。「居住人口の社会増減（5 年間の総数）」については、目標値 250 人増に対して、平成 26 年度は、68 人減であり、現時点では目標達成には至っていない。これも、主要事業であるハード整備事業が実施中であることから、事業の効果が発現するのが今後になることが見込まれる。

(3) 一の坂川周辺地区整備事業

山口市より資料に基づき説明。

「中心市街地における河川を活かしたにぎわいの再生」を目標に、平成 17 年度から山口県の「一の坂川再生事業」と一体となり、電線類地中化やカラー舗装による道路美装化などの整備を実施してきた。実施にあたっては、「山口市中心市街地まちづくり協議会」の下部組織である「一の坂川周辺地区ブロック協議会」で、まちづくりに対する思いをまとめた「まちづくり構想」「まちなかオアシス構想」を反映させ、協議調整を図りながら進めてきた。事業については、現在整備中の「一の坂川交通交流広場」の完成をもって完了となる。「一の坂川交通交流広場」の供用開始時期は、5 月 30 日から始まるほたる鑑賞 week に合わせ、噴水・遊具のある広場を開放。待合所のある広場及び芝生の広場は、施設整備、芝生の養生を終える 7 月上旬からの全面開放を予定。今後、様々なイベント等で広場を活用し賑わうことで、中心市街地の活性化に寄与することを期待。

(4) 山口駅前地区住宅市街地総合整備事業

山口市より資料に基づき説明。

密集市街地において、老朽住宅等の建替えと公共施設の整備を促進し、住環境改善、防災性の向上等を図るため、住宅市街地の再生・整備を総合的に行う事業で、山口市では、平成 25 年度に中心市街地内の現況調査やアンケート調査、市民説明会等を実施。平成 26 年度は、地域住民がまちづくりの話し合いや提案を行う場として、昨年 12 月に「山口市住宅市街地整備推進協議会」が設立され、中心市街地における快適な居住環境の創出や密集市街地の改善について、会員と協議を行いながら事業を推進中。今年度は、住宅市街地整備計画書及び事業計画書の策定を予定。

(5) 米屋町東地区優良建築物等整備事業

山口市より資料に基づき説明。

密集した市街地において老朽化した建築物の除却や建替等を進めながら、土地の合理的かつ健全な高度利用と都市機能の更新により、中心市街地の活性化を図る事業で、平成 24 年 10 月に地元地権者で組織する「まちづくり協議会」が設立。昨年 4 月には「合同会社米屋町東地区開発」が設立され、現在の事業を推進中。

整備内容は、1階から3階に商業施設、クリニック、デイサービスや子育て支援施設の整備が検討されており、上層階にはサービス付き高齢者向け住宅や一般の高齢者向け賃貸住宅が整備される予定。今年度は、建物の除却と工事への着手が予定されている。

(6) 中市1番地区優良建築物整備事業

事務局より資料に基づき説明。

住宅部分の分譲については、ポレスター中市セントラルシティとして、株式会社マリモが第3期の販売中で、35戸中34戸が契約済。今後は第4期の19戸、最終の第5期の18戸と順次販売予定。1階のテナント商業部門については、計画設計連合が誘致活動を展開中。3区画中2区画は契約済。

(7) あきないのまち支援事業

事務局より資料に基づき説明。

平成27年度より、店舗改修費に係る経費の補助金が拡充となり、飲食業は150万円、小売・サービス業は100万円、事務所は50万円がそれぞれの上限となった。また、市内に住民登録がある44歳以下の若者及び女性の経営者については更に30万円の加算有。事業実績は、平成24年度に19件、平成25年度に9件、平成26年度に7件の新規出店があり、過去3ヶ年の出店店舗数は71店舗で、閉店店舗は61店舗。合計で10店舗の増加となり、空き店舗率は年々減少している。

(8) 黄金町地区第一種市街地再開発事業

道場門前商店街振興組合の北條理事長より資料に基づき説明。

道場門前大駐車場や隣接地の所有者が、土地を協同化し、新たに協同住宅・駐車場・公益施設・商業施設及び防災施設等の整備を行うため、平成26年7月に山口市黄金町地区再開発準備組合が組織された。今年度は都市計画の決定、事業計画案の策定、地番調査等を行う。竣工は平成31年8月を予定。

以上